

令和8年度 笠間市の子育て支援について

令和8年度は、重点プロジェクトの柱のひとつである、「安心！若者・子育て・笠間暮らしの向上～日本一暮らしやすい笠間市づくり」を掲げ、経済的支援や保健・福祉、教育の充実を進め、世代を問わず毎日の暮らしの不安を取り除くための事業を展開し、こども・若者が期待と希望をもてるまちを目指します。

1. こどもまんなか社会づくりの推進

新規 ◆民間乳児等通園支援事業 19,008 千円

保護者の就労要件等を問わず、誰もが柔軟に保育所等を利用できる環境を提供し、すべてのこどもの育ちの応援と在宅で育児をする保護者の負担軽減を図ります。

新規 ◆5歳児健康診査事業 2,190 千円

身体の発育や集団行動の確認のほか、育児に関する困りごとや就学に関する情報提供を行い、関わり方や成長・就学目標を医師や保健師、心理士が保護者とともに考えます。

新規 ◆休日・夜間小児オンライン診療事業 7,540 千円

15歳（中学生まで）以下のこどもを対象に休日・夜間の急な体調不良に対応するため、遠隔医療アプリを通じたオンライン診療を提供します。

拡充 ◆子育て支援アプリ運用事業 693 千円

電子母子手帳機能を有する子育て支援アプリにより、子育て世帯へ必要とする情報を直接届けるなど利便性の向上に努めます。

◆産後ケア事業 3,829 千円

専門の施設で授乳指導や育児指導を受けることにより、育児不安の軽減を図ります。

◆妊婦のための支援給付金・給付事業費事業 32,154 千円

子育て家庭が安心して、出産・子育てができる環境をより充実させるために経済的支援を行います。

◆妊婦等包括相談支援事業 1,830 千円

妊婦時から妊産婦等に寄り添い、出産、育児等の見通しを立てるための面談や情報発信等 伴走型相談支援の推進を図ります。

◆プレコンセプションケア推進事業 472 千円

市県内産婦人科で実施したプレコンセプションケア（妊娠前の健康管理）の費用を一部助成します。

◆子ども総合育成支援事業 35,187 千円

成長や発達が気になるこどもやその保護者に対し、連携して支援を行います。

◆子ども総合相談支援事業 18,822 千円

こどもの成長や発達などの気になることについて、各分野の専門員に相談し、必要に応じて発達検査を実施し、支援・指導の助言を行います。

◆子どもの居場所づくり事業 410 千円

大原小学校で「早朝見守り活動」を実施することで、こどもたちが始業前の朝の時間に安心して過ごせる環境を整え、子育て世代の生活の多様化を支援します。

◆こども・若者参画事業 38 千円

こどもや若者の意見を聴くことで、自己肯定感や自己有用感を高めるとともに、当事者のニーズを捉え施策に反映します。

2. 子育て徹底応援

新規 ◆保育料完全無償化事業 146,155 千円

※保育所等運営事業費のうち、本事業にかかる財源
第1子も含めて保育施設に入園するすべてのこどもの保育料を無償化し、子育て世帯の経済的負担の軽減を図ります。

新規 ◆小学校給食費無償化事業 128,603 千円

小学校給食費の完全無償化により保護者の負担を軽減します。

◆学校給食費負担軽減事業 76,044 千円

妊物価高騰下においても給食費を値上げすることなく、保護者の負担軽減を図り、質を維持した給食を提供します。

◆第三子給食費無償化事業 2,287 千円

第三子以降の給食費を完全無償化し、多子世帯保護者の負担を軽減します。

◆在宅育児応援事業 10,000 千円

雇用保険の適用がなく育児休業給付金等の社会保障を受けることができずに在宅で育児を行っている方に対して、乳児一人あたり20万円を支援します。

◆高校生寺子屋事業(地域未来型) 1,111 千円

自習スペースを提供し、高校生の自主学習を支援します。学習アドバイザーによるサポートも行います。

◆高校生等生活応援事業 31,500 千円

高校進学等新たな生活の準備費として、一人あたり5万円を支援します。

◆エコランドセル給付事業 9,460 千円

市内小学校・義務教育学校の新1年生を対象、経済的負担の軽減と環境教育を目的として、通学用ランドセルを指定化し、全員に配布します。

◆制服等購入費支援事業

18,300 千円

中学校入学前に制服等の購入費として、一人あたり 3 万円を支援します。

3. 保育環境の向上

◆地域医療センターかさま病児保育事業

16,077 千円

こどもが病氣中に保護者の方が仕事を休めないなど、家庭での保育が困難な場合に保育士・看護師が病児保育室で一時的にお預かりします。

◆認定こども園一時預かり事業

3,976 千円

認定こども園で、保護者の希望により教育標準時間以外に、こどもを一時的に預かります。

4. 笠間版ハイブリッド型デジタル教育の強化

◆次世代の教育 DX 推進事業

155,580 千円

次世代クラウドシステムを導入し、学習データを分析・可視化、児童生徒の習熟度別指導や個別学習により、最適化された学びを提供します。また校務支援システムの導入により教職員の働く環境を改善します。

◆タブレット端末更新事業

261,213 千円

長期間使用により老朽化が進んでいる、児童生徒の学習用タブレット端末を更新します。

5. 実践型学力・運動能力向上

◆英語教育強化推進事業

82,056 千円

中学生海外留学にかかる費用の支援により、国際社会に触れる機会を創出し、グローバル人材を育成します。また、英語検定にかかる費用を助成し、小学校低学年から外国語に触れる機会を設け、自ら興味を持ち主体的な学習意欲を高めます。

◆台湾交流事業(教育交流)

8,216 千円

市内中学校、義務教育学校代表生徒の中学生親善大使としての台湾派遣や高校生の台湾の大学への短期留学支援により、国際的な視野を持つ人材を育てます。

6. 教育環境の充実

◆校舎 LED 照明整備事業(中学校)

83,712 千円

学習環境の向上や脱炭素の取り組みとして、学校校舎の照明を順次 LED 化します。

◆学校プール民営化事業

23,407 千円

水泳授業において、民間スイミングスクールの専門指導員と連携した指導による泳力の向上と監視体制など、安全対策の強化を図ります。

7. 寄り添う教育支援の強化

◆特別支援教育支援員配置事業

129,771 千円

市内小・中・義務教育学校に在籍する、特別な教育的支援が必要な児童生徒の介助・学習支援を行います。

◆スクールソーシャルワーカー配置事業

21,627 千円

学校教育における諸問題に対応するために、教育・福祉等の専門的な知識および技術を有するスクールソーシャルワーカーの相談体制の充実を図ります。

◆校内フリースクール事業

20,567 千円

通常の学級に行くことができない生徒が、安心して学校生活を送れるように、市内中学校及び義務教育学校にフリースクールを開設します。